

産業構造審議会 製造産業分科会 車両競技小委員会（第14回）
議事要旨

日時：令和2年6月15日（月曜日）14時00分～16時00分

場所：経済産業省別館1階104各省共用会議室

出席者

岡委員長、大西委員、絹代委員、古野委員、松田委員(web参加)、三屋委員、山本委員

議題

- (1) 競輪・オートレースを巡る最近の状況について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策関連について
- (3) 「競輪の持続的発展のための課題解決に向けて ー具体的な取組のための制度設計ー」の進捗状況について
- (4) 「競輪事業の持続的発展に向けた中期基本方針」の現状及び最近の取組について

議事概要

冒頭、牧原副大臣より競輪、オートレースへの期待及び新型コロナウイルス感染症に対する政府としての支援策等についてご挨拶。

岡委員長により、議題に沿って進行。

配付資料及び議事録について、一部を除き公開とすることを了承。

事務局、JKA、全輪協及び選手会から説明があった後、各委員等から意見が述べられた。

主な意見と質疑応答は以下のとおり。

議題(1)、(2)関連

- 当小委員会において競輪最高会議について議論したものの、今回のコロナ禍で競輪開催についての足並みが揃わないことが露呈。責任の所在も含めた議論が必要。
- 競輪・オートレースの持つ公益性について、再確認する必要があるのではないかと。
- 特に選手に対する新型コロナウイルス感染症対策について、分かりやすく公表することが重要。
- レース開催方法やユニフォームも含めたレースの見せ方等、従来と異なった方法でプロモーションを図り顧客の裾野を広げるべきではないかと。併せて、本場来場者の増加を図る施策を検討すべき。

議題(3)、(4)関連

- 提供するレースについて、様々な選択肢を客に与える必要があるのではないかと。
- 競輪選手はフィジカル、メンタル面で魅力がある。選手のプロモーションを工夫すると可能性が広がるのではないかと。
- コロナ禍で、ネット販売比率が伸びた。今後は販売の主軸を本場からネットにシフトする必要性を認識しつつ、他方で、ネットでは分からない領域で本場の戦略を構築すべき。各施行者におけるマーケティングが難しいなら中央で一元化するべきではないかと。

お問い合わせ先

製造産業局 車両室

電話：03-3501-1694

FAX：03-3501-6731